



6年 家庭 研究授業 ～よい献立にするにはどんな工夫をすればいい？

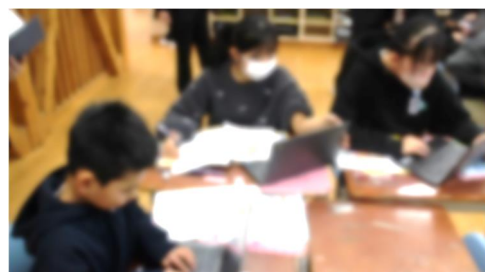
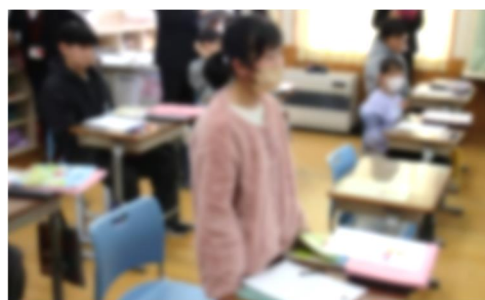
11月29日（金）、南教育事務所の指導主事さんをお迎えして今年度3回目の指導主事計画訪問（授業研究会）を行い、6年生が家庭科の授業をしました。

小学校の5・6年だけにある家庭科での本校の研究テーマと具体的な施策は次のとおりです。

家庭科 研究テーマ 日常生活や社会の変化に主体的に対応しようとする子どもの育成

- ①日常生活や社会の中から問題を見だし、主体的に取り組むことができるようにする。
- ②気付いたことや考えたことなどを、言葉や図表、概念などを用いて伝え合う場面を取り入れる。
- ③課題解決できた達成感や実践する喜びが味わえるように自己評価や相互評価をする。

学習のねらいは「1食分の献立について栄養のバランスを確かめ、よりよい献立になるように工夫すること」でした。子どもたちは、前の時間に「家族と一緒に食べたいランチ」というテーマで考えた献立を、栄養のバランスなどの面から見直し、それぞれに献立を工夫していました。指導主事の先生からは、①に関連して、「課題について男女分けて無く意欲的に交流できていた」、②に関連しては「栄養のバランスを確かめたシートを使いながら、自分の考えを素直に表現したり、伝え合ったりしていた。アドバイスをし合っている姿もすばらしい」など、子どもたちの姿をたくさん褒めていただきました。また、給食センターの栄養士の先生ともつながりを持ったことで、子どもたち一人一人に、彩りや旬の食材を使う工夫などの助言が入った献立シートが配られると、歓声があがり、納得する表情が見られました。外部の、専門の知識をもった方が授業に関わることの大切さも感じることができました。



この献立は、学校で一人調理をした後、冬休みには、家族のために調理して、一緒に食事を楽しむことになっています。家庭科には「家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う」という大きな目標があります。子どもたちが家庭にもどってからのがんばりにも期待しています。

4～6年生 秋田県学習状況調査に挑む！

今日は、秋田県学習状況調査が実施され、県内の4～6年生全員が、国語・社会・算数・理科（4年生は国・算・理）と学習意欲等に関するアンケートに取り組みました。初挑戦となった4年生からは、「いつものテストより難しい」「がんばれたけど、自信はない」などの感想が聞かれました。この調査は、秋田県の子どもの学力向上を図るために毎年行われているものですが、各学校や個人で点数の高さを競うものではありません。採点が終わったら結果を分析し、それぞれの子どもたちに学習のアドバイスをするとともに、学校としての成果や課題をまとめ、私たち教職員の授業改善につなげていきたいと考えています。個人への結果配布は、冬休み明けになりそうです。



くいっこたちの活躍紹介 がんばった！おめでとう！

○あきたキッズプログラミングアワード ファイナル 11月24日最終審査

秋田魁新報社賞 6年 Y. Iさん SMIRアプリ（スマイルアプリ）

○渡部忠杯秋田県小学生ソフトテニスインドア大会 12月1日

男子2部 第3位 3年 I. Eさん（大館の選手とペアを組んで）

○大仙市秋季水泳競技記録会 記録証 11月17日

5年 H. Sさん バタフライ 50m 35秒72

自由形 50m 34秒74

個人メドレー100m 1分24秒51



○秋田市ジュニア強化水泳記録会 12月1日

4年 H. Sさん 平泳ぎ 50m 46秒83 [6級] タイム決勝

100m 1分42秒41 [6級] タイム決勝

K. Kさん 自由形 50m 32秒57 [9級] タイム決勝

100m 1分13秒21 [8級] タイム決勝

背泳ぎ 50m 40秒26 [6級] タイム決勝

5年 H. Sさん 自由形 50m 33秒20 [6級] タイム決勝

バタフライ 50m 34秒20 [7級] タイム決勝

100m 1分20秒96 [5級] タイム決勝